

# 取り付けとメンテナンスのガイドライン

## フローパックスリップリングF 7370 Cシリーズ

本書は、F 7370 C シリーズスリップリングトランスミッタの設置および保守に関する説明書です。スリップリングを操作する前に、この説明書をよくお読みください。保証を維持するためには、データシートに記載された仕様を遵守する必要があります。

### 安全上のご注意

- 専門スタッフ：設置およびメンテナンスは、訓練を受けた専門スタッフのみが行ってください。
- 電流または電圧の確認：メンテナンスと設置の前に、システムの電源を切り、通電を停止する必要があります。
- 使用停止：安全な運転条件が保証されなくなった場合、または故障の危険がある場合は、適切な安全措置を講じ、スリップリングを使用から外し、不用意に再運転が行われないように保護する必要があります。
- 保護部品：スリップリングは、指定された保護部品なしで使用しないでください。

### 取り付け

- シャフトへの取り付け：システムシャフトとスリップリングの中空シャフト間のシーリングは、お客様で行ってください。取り付け方法が異なる場合は、メーカーにご相談ください。
- ドライブ：トルクアームを介した駆動は、フレキシブルでなければなりません。リジッドな取り付けは、スリップリングの損傷や破壊につながります。
- 機械的変更：スリップリングを機械的に変更したり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- データシートの制限遵守：スリップリングは、データシートに記載された制限内で使用する必要があります。
- 水平取り付け：水平に設置する場合は、メンテナンスロが下向きになるようにスリップリングを調整する必要があります。



### テクニカルデータ

#### 電圧と電流

- 電源ライン 2x 20 A+ PE, 230 V
- データライン 0x/2x 2 A, 24 V

#### 絶縁と抵抗

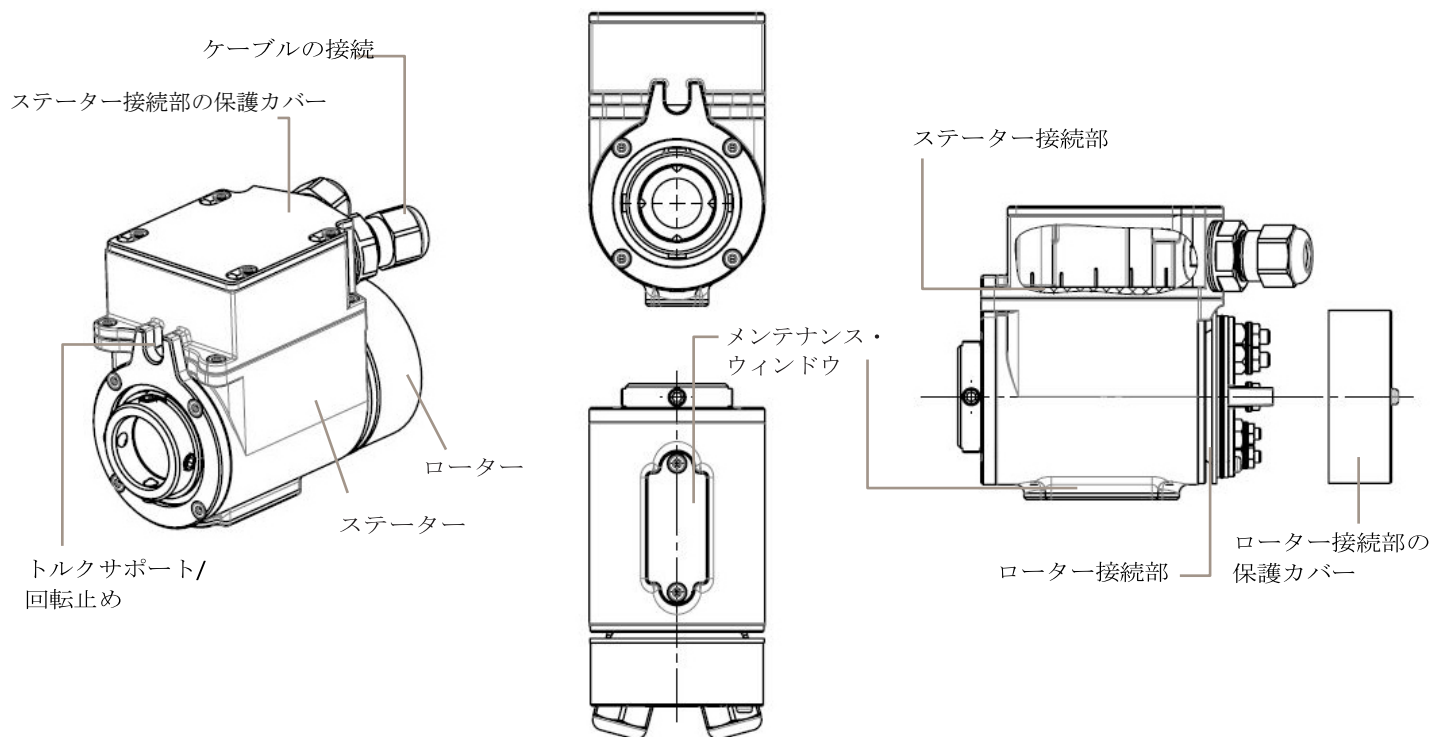
- 接触抵抗 100 mOhm
- 絶縁抵抗 DC500 Vで 100 MOhm
- 電圧強度 1000 V 60 秒間

#### 動作パラメーター

- 最大回転速度 500 rpm
- 動作温度範囲：-10~60°C (14~140°F)

## メンテナンス

- 定期的なメンテナンス安全性を確保し、スリップリングの耐用年数を延ばすためには、定期的なメンテナンスをお勧めします。
- メンテナンス間隔は、最大5,000万回転後に実施し、その後は1億回転ごとに実施。少なくとも年に1回は実施すること。
- メンテナンスの前に、スリップリングの通電を遮断する必要があります。メンテナンスカバー（ネジ2本）を取り外し、ブラシの磨耗を掃除機で吸引します。圧縮空気や潤滑油は、スリップリングの機能に悪影響を与えたり、スリップリングを破壊したりする可能性があるため、使用しないでください。メンテナンスが終わったら、メンテナンスカバーを再び取り付けます。



詳細はお問い合わせください： [rekofa.info@moog.com](mailto:rekofa.info@moog.com)

日本ムーグ株式会社 Industrial Slip Rings & Marine  
〒254-0019 神奈川県平塚市西真土1-8-37  
[mcg.japan@moog.com](mailto:mcg.japan@moog.com)

MoogおよびRekofaはMoog Inc.およびその子会社の登録商標です。ここに記載されているすべての商標はMoog Inc.およびその子会社に帰属します。  
©2026 a Moog company 無断複写・転載を禁じます。すべての変更は留保されています。

この技術データは現在入手可能な基づくものであり、随時変更されることがあります。特定のシステムまたはアプリケーションの仕様は異なる場合があります。

ムーグフローバックスリップリング F 7370 C の取り付け、  
MR/Rev.A、2026年6月、